

備前市議会議長 守井秀龍 殿

請願者 備前市伊部1758-1
全国有志子どもを思う会岡山支部
岡村邦子
紹介議員 内田敏憲

請 願 書

1 請願の要旨

マスクの有無に関係なく子どもが笑顔で過ごせることを望む請願

2 請願の趣旨

新型コロナウイルス感染症を防ぐため、日常生活や経済活動は様々な制限を受けてきたが、現在では感染対策が徐々に緩和されている。一方で、幼稚園や学校では相変わらずマスク着用が厳しく指導され、給食も黙食が求められるなど、子どもは大人と比べて我慢を強いられ続けている。

マスク着用は強制ではなく、着用していない子どもに対して差別、いじめ、中傷をしてはならないという当たり前のことが教育現場に十分反映されていない。マスク着用を毎日呼びかける教員もおり、威圧的に感じたり、「マスクを着けないことは悪いこと」と誤解したりする子もいる。そのために、熱中症などの危険があるにもかかわらず、マスクを外したくても外せない子が大勢いる。また、着けていない子へのいじめや暴力など人権侵害も全国で相次いでいる。

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部が令和4年10月14日に出した「マスクの着用に関するリーフレットについて（更なる周知のお願い）」との事務連絡にも、「本人の意に反してマスクの着脱を無理強いすることにならないよう、丁寧な周知をお願い申し上げます」と留意事項が記載されている。

また、厚生労働省と文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」にも「黙食」、「会話禁止」の文言はない。

3 請願事項

幼稚園や学校など教育・保育現場における子どもたちの健やかな心身発達のため、次の3点を吉村武司市長と松畑熙一教育長に要望いたしました。

実現に向けて市議会議員の皆様の賛同と御支援を請願いたします。

- ① マスクを着けるか着けないかの決定権は本人や保護者にあり、各家庭の判断であることをさらに周知徹底すること
- ② マスク着用の有無による偏見、差別禁止を、チラシ、リーフレット、ホームページなども積極的に活用し、さらに周知徹底すること
- ③ 黙食を緩和し、大声でなければ食事中的の会話は可能とすること